

---

# 不毛な会話

腐れ大学生

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

不毛な会話

### 【著者名】

腐れ大学生

### 【あらすじ】

骨折した少年と骨折しなかった少女が不毛な会話をする話。

ああ、昼休みといつものは退屈だ。足が折れていて動けない時は特にそうだ。

「そうは思わないか？」 親友。

「だから何度も謝ったし、お礼も言つたでしょ。性格悪いなあ

いやいや、僕は別に謝罪や感謝が欲しいわけではない。ただ退屈だと言つているだけだ。

しかし君の顔を見たおかげで一つ面白いことを思い出したよ。僕の親友に君とよく似た女性がいるんだけど、その子は高校生にもなつて左右の確認もせずに道路に飛び出して、車に轢かれそうになる奴なんだ。

アホだろ？、笑えるだろ？。

「私もその人のこと知ってる。そのとき助けてくれた奴が存外面倒くさい奴で、今そいつにからまれて困ってる人のことでしょう。」

「へえ、それはうつとうしい奴もいたものだ。顔が見てみたいなきつと鼻筋の通つた一重まぶたの美男子に違いない。」

「毎朝洗面所で見てるでしょ。さつきから何が言いたいのよ。あんたがそんな面倒くさい言い回しをするときは、大体何か裏があるでしょう？」

人聞きの悪いことを言つ、最初に言つただろ？。僕は退屈しているんだ。

僕の足がへし折れたことに関して、君が少しでも責任を感じてい

るなり、君は僕を楽しませようと努力すべくではないかな。

「あんた足が折れでなくとも、自分の席で私と話してるのでしょう。要は何か面白い話をしろってこと?」

面白い行動でもいいよ。

いや、すまない。今のは失言だつた。

君は常にやること成すこと面白いもんな。毎日が吉本新喜劇だ。

「開放骨折にしてやろうか。まあ、いいや。私のとつておきの話をしてもんぜよう。不毛な話だけど、構わないかな?」

暇をつぶせるなら、愉快な話だろうが不快な話だろうが、なんでもいいよ。

しかしどつておきだなんて銘打つていいのかい?

君がアホなことは重々承知しているけど、その上で僕を失望させるような話をしたら、君との関係を考え直さざるを得ない。

「え、今何気に絶交の危機? 何気ない口常会話ことんでもない異が!」

いいから早く。

このままじや暇すぎて次元跳躍しそうだ。

「難儀な体質してるね。では親友を一次元に飛ばさないためにも、とつておきの話をはつじめるよー」

いえーい、パチパチパチ。

「昔々、あるときに一人の女神がありました」

おお、昔話形式なのか。

「女神はとても美しく、その美貌はクレオパトラが泣きながらフラン  
イング士下座するほどでした」

それは相当に美しかったのだろうな。

でも君ならきっと対抗できる。首から上を挿げ替えさえすれば。

「全とつ換えじゃねーか、黙つて聞いてる。そんな女神を他の神様  
が放つておくはずはありません。三人の神様が女神に求婚しました」  
「一人目は豊作の神。彼は女神と結婚できるなら、女神の領地に永  
遠の豊作をもたらすと約束しました」

「二人目は美貌の神。彼は女神と結婚できるなら、女神の領地に存  
在するもの全てに完全なる美を与えると約束しました」

「三人目は富の神。彼は女神と結婚できるなら、女神に莫大な富を  
与える」と約束しました」

太つ腹な連中だな。

それで、女神は誰を選んだんだ？

「んふふー、誰だと思つ？」

そうだな、多分一番目の美の神だろう。

それだけ美しい女神なら、自分の領地にも美しくあつてほしいと  
思うだろうしな。

「ブブー。大、不正解。いけませんなー、全然女心がわかつていま  
せんなー。」

まつとけ。

そこまで言つない、ちゃんとしたオチがあるんだろうな。

「もちろんですよ。女神はね、誰も選ばなかつたの」

はあ？ 何で？

「最初に言つたでしょ、不毛な話だつて。三人とも禿げてたからよ」

……。

「……」

謝れ。

「い」めんなさい」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2934n/>

---

不毛な会話

2010年10月18日23時19分発行